



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

— あいなん音故地新 —

薬膳の国、台湾。

4月のあたま、友人と台湾に行ってきた。お茶や食文化に興味があったのと、鍼治療を体験したかったのと。異国なのに懐かしさを感じて、30年前の日本を見とるようやった。

食事は屋台や食堂がメインで、ビーフンや水餃子、お粥など自国の食べ物が多く、ホットドッグのようなジャンクフードはあまり見かけなかったし、朝市に並ぶのは季節の野菜と新鮮な精肉や惣菜。味付けも優しく、食べる物すべてが薬膳料理やった。

日本では遠く離れた国の野菜や果物が季節に関係なくスーパーに並んだ。それは便利なことやけど、私たちの体にとっては良いこととは言えん。水分の多い夏野菜は体を潤し、熱をさばく作用があり、冬に穫れる根菜は身体を温める。『旬のものを火を通して食べる』ということが食養生の基本で、今でもそれを続けとる台湾という国が羨ましかった。

これから梅雨がくる。心も体も湿気で重たくなり、落ち込んだり、不調のある部位が疼いたりしやすくなる。こんなときにはトウモロコシを…と書こうとしてハツとした。そういえばタクシーに乗ったとき運転手のおちゃんが茹でトウモロコシを食べとった! 胃腸の働きを助け、余分な水分を排出するトウモロコシはこれからの季節に推したい野菜No.1。恐るべし、台湾!! 恐るべし、タクシーの運ちゃん! 笑

食生活以外にも個人商店が連なる街や地元の人が集う夜市や朝市は愛南町にも活かせるかも! と想像しながら楽しんだ。世界を見るって大切な、と改めて感じた旅やった。(テノヒラkiku)



御荘文化センター図書室より

“5月の新着図書ピックアップ”の紹介

【絵本】

『お城の迷路 世界をめぐり宝をとりもどせ!』

香川元太郎・香川 志織(作)／PHP研究所(発行)

お城の公園で出会った不思議なロボットと一緒に、ドロボウ、ヌストー団を追って戦国の山城、中世ヨーロッパや中国の城、イスラムの王宮などを巡ります。途中には迷路や隠し絵、クイズ、回文探しなど、仕掛けが盛りだくさん。繰り返し読んで楽しめます。作者の香川元太郎さんは愛媛県出身。志織さんは娘さんです。

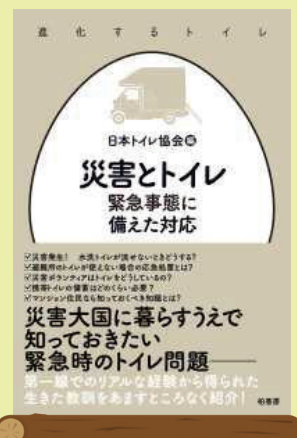


【災害関連】

『災害とトイレ 緊急事態に備えた対応』

日本トイレ協会(編)／柏書房(発行)

阪神・淡路大震災で顕在化したトイレ問題。その後の災害でも同じ問題が起こっています。断水、停電、上下水道の破損などで水洗トイレは流せなくなります。本書は、トイレが使えない時の応急処置、家庭や地域の備蓄の必要量、仮設トイレの手配・運用など、第一線でのリアルな経験から得られた教訓を紹介します。



御荘文化センター図書室では、毎月「御荘文化センター図書室だより」を発行しています。図書室だよりを通じてピックアップ図書以外の新着図書情報やそのほか新しい情報を皆さまに発信しています。町のホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。



愛南町
ホーム
ページ